



木曽林務課だより

4月

春の暖かい日が続く中、県内各地からサクラの開花の便りがやってくるとともに、竹やぶからはウグイスの声が聞こえてきます。この時期は、冬眠から動物たちも動きだし、不慮の遭遇の危険性が高まることから、皆さんに気にかけていただきたいことをお知らせします。

冬眠明けの動き回るクマにご注意ください!!

クマの痕跡があったら近づかない。

春、クマは芽吹いた草や木の芽を好んで食べ、特に雪解けの早い里や沢筋など標高の低いところにクマが集まってくる時期です。また山菜類は、クマにとっても重要な食べ物で、山菜のある場所には、クマがいる可能性があります。

山中はクマの生息地です。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。

「森林の中にはクマがいる」と思って行動を

森林内に入る場合は、できるだけ単独ではなく、複数で行動しましょう。

特に朝夕の薄暗い時間帯や見通しの悪い藪の多い箇所では、不慮の遭遇に十分に気をつけてください。

クマに人がいることを音で知らせましょう

クマは、人の気配を感じたら、自分から人を避ける行動をとります。クマ鈴、ラジオなどで音を出しながら、クマに人がいることを知らせながら行動しましょう。

但し、山菜取り等に熱中すると周辺への注意力が散漫になるとともに、溪流の水音などでラジオや鈴の音がクマに届かない場合があることから、過信は禁物です。

子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう（親子クマに注意）

春は、母グマは子グマを連れている場合が多くなります。こうした母グマは、子グマを守るために、神経質になっています。

犬は連れて行かないで

人の気配を感じたクマは、身を隠して人をやり過ごそうとします。しかし、犬が一緒の場合には、犬に吠えられるなどして、人へ攻撃をする場合があります。犬を連れて散歩等で山中へ入るのは控えましょう。

**クマとのバッタリ遭遇が一番危険です。
まずはクマに人の存在を知らせましょう。**

